

保護者の皆様

山鹿市立三玉小学校
校長 猿渡 徳幸

令和5年度 第2回学校評価アンケートの結果と対策について（報告）

日頃より本校教育にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。3学期も2月に入り、3学期も後半、いよいよまとめの時期となります。

さて、12月に実施いたしました第2回学校評価アンケートにご協力いただき、お礼申し上げます。93.1%の高い回収率は、保護者の皆様の本校教育に対する思いや願いであると真摯に受け止めております。今回の結果と、併せて実施した児童アンケートの結果、教職員の取組状況の反省、地域のアンケートの結果をもとに、これまでの取組をさらに充実させていくとともに、今後、誰一人取り残すことのない、児童一人一人を大切に教育を進め、特に、以下の点に力を入れていきたいと思っております。

- 誰一人取り残さない「人間関係づくり」をさらに進めます。・・・学級づくり、教育相談、あいさつ等
 - 誰一人取り残さない「確かな学力の向上」をさらに図ります。・・・授業改善、個に応じた指導、読書活動等
 - 誰一人取り残さない「生活習慣の定着」をさらに図ります。・・・生活習慣・生活リズムの向上、体力の向上等
- なお、評価の分析と具体策は以下を、また、評価の詳細は、裏面の資料をご覧ください。

1 保護者アンケートから（回答：93%：120人／129人）（丸数字は、アンケートの質問番号）

(1) 評価の高かった項目（「そう思う」「大体思う」の割合93%以上、かつ4点満点：3.4以上）

とても高い評価をいただきました。評価がとても高かった項目は、次のとおりでした。矢印は第1回との比較

- ⑳ 学校は、安全な生活、環境づくりに配慮している。(99.2%↑・3.40↓)・・・安全な環境整備
- ⑯ 学校は、地域やふるさとを大切にする学習をしている。(98.3%↑・3.47)・・・地域学習の推進
- ⑲ 学校は、校舎内外ともに美しい環境である。(98.3%↑・3.44↓)・・・美しい環境整備
- ③ 子どもは、友達と仲良くし、優しくしている。(97.5%↓・3.43)・・・人間関係の構築
- ⑱ 学校は、学校便りやHPなどで、学校の様子を発信・連携している。(97.5%↓・3.41↓)情報発信
- ㉒ 子どもを三玉小に通わせてよかった。(95.8%↓・3.43↓)・・・学校への満足・有用感

※ 得点については、「そう思う」を4、「大体思う」を3、「あまり思わない」を2、「思わない」を1として換算し、その平均を出したものです。なお、「わからない」は除いています。

(2) 今後考えていきたい項目（「そう思う」「大体思う」の割合85%未満、かつ4点満点：3.0未満）

どの項目も高い評価をいただきましたが、他の項目と比べ低かった評価は、以下のとおりでした。

- ⑦ 子どもは、家庭で読書に親しんでいる。(42.0%↓・2.39↓)・・・読書活動の推進
- ⑩ 子どもは、テレビやゲームの時間を守っている。(54.1%↓・2.56↓)・・・ノーメディア
- ⑫ 子どもは、好き嫌いなく食事をとっている。(71.3%↓・2.92↓)・・・食育の推進

(3) 第1回（7月）との比較

- ☆大きく伸びたもの・・・特に、ありませんでした。
- ★伸び悩んでいるもの・・・⑦読書(7.1%↓) ⑮道徳授業(5.0%↓) ⑧生活習慣(4.8%↓)
- ⑭教育相談(4.3%↓) ⑳満足有用感(4.2%↓) ㉑組織化(4.1%↓)

(3) いただきました主な意見とその対応は以下のとおりです。

- 環境がよい。先生方・学校のイメージがよい。 ○学校教育が充実し、様々な活動・体験が進んでいる。
→教育活動にご理解いただき、感謝しております。さらに質の高い教育活動を進めてまいります。
- ・いじめがありますか。→教育相談を実施しました。いじめの認知は3件（すべて解消）。
- ・丁寧な指導をしてほしい→指導が児童に理解されているかを確認。児童に寄り添う指導を進めます。
- ・PTA活動が停滞している。→PTAアンケートでも把握し、PTA役員にも相談。
- ・学校撮影の写真がほしい。→原則、個人に配付はしません。HPや学級便りでも公開・掲載しています。
- ・標準服の着用（女兒の冬・夏の色が異なる）→業者に相談しました。どちらでも着用可能です。
- ・本校OBの講演をしたらどうか。→検討しましたが、今年度の予定はありません。

2 児童アンケートから（回答：100%：173人／173人）（丸数字は、アンケートの質問番号）

児童に対しても、7月に学級でアンケートをとり、自分の生活を見つめ直す機会としました。

(1) 評価の高かった項目（「そう思う」「大体思う」の割合95%以上、かつ4点満点：3.5以上）

評価がとても高かった項目は、次のとおりでした。

- | | | |
|---|--|------------|
| ① | いじめはいけないことだと思う。(99.4%↑・3.91↓) | いじめ防止 |
| ⑬ | 先生は、授業の内容が分かりやすいように、黒板の字を大きく、分かりやすく書いたり、資料や文字をテレビにうつしたりしている。(98.8%↑・3.85↑) | UDの視点 |
| ⑳ | 安全な登下校に気を付けている。(98.3%↑・3.66↓) | 安全な登下校 |
| ㉔ | 三玉小が楽しい・学んでよかった。(97.7%↑・3.75↑) | 学校への満足・有用感 |
| ⑤ | 道徳の授業にしっかり取り組んでいる。(97.7%↑・3.56) | 道徳教育の推進 |
| ⑩ | 授業は分かりやすい。(97.1%↑・3.61↑) | 授業理解 |
| ⑮ | 授業や活動で、タブレットを進んで利用した。(96.5%↑・3.58↑) | ICT活用 |
| ⑰ | 歯磨き、手洗いなど健康な体づくりができています。(96.5%↑・3.57) | 健康づくり |
| ㉓ | 無言掃除にしっかり取り組んでいる。(96.0%↑・3.65↑) | 美しい環境整備 |
| ㉒ | 花壇や掲示など、美しい環境づくりができています。(95.4%↑・3.57↑) | 環境整備 |

(2) 今後考えていきたい項目(「そう思う」「大体思う」の割合85%未満、かつ4点満点:3.3未満)

児童が生活を見つめ直した結果、評価が低かった項目は、次のとおりでした。

- | | | |
|---|--|---------|
| ④ | 困ったときに、先生に相談しやすい。(80.3%↓・3.15↓) | 教育相談の充実 |
| ⑪ | 自分の考えや意見をすすんで発表しようとしている。(82.1%↑・3.18↑) | すすんで発表 |

(3) 第1回(7月)との比較

- | | | | |
|------------------|----------------|----------------|----------------|
| ☆大きく伸びたもの . . . | ⑦児童会活動(5.9%↑) | ⑪すすんで発表(5.6%↑) | ⑲すすんで運動(5.5%↑) |
| | ⑨学習のきまり(5.3%↑) | ㉓無言掃除(4.2%↑) | ⑮ICT活用(4.1%↑) |
| ★伸び悩んでいるもの . . . | ④教育相談(3.3%↓) | ②言葉遣い(2.2%↓) | |

3 今後に向けて(今後、力を入れていく点とその方向性、具体策)

○ 誰一人取り残さない「人間関係づくり」をさらに進めます。・学級づくり、教育相談、あいさつ等

よりよい学級づくりに日常的に取り組み、児童の居場所づくりを図るとともに、担任(教職員)と児童との人間関係・信頼関係(児童に寄り添い、しっかりと向き合う指導の充実、学級活動の充実、情報の共有の場の設定)を構築していきます。教育活動を充実させ、「学校が楽しい」と感じる児童100%(現在:97.7%)をめざします。また、いじめや人間関係のトラブル等の未然防止、解消(教育相談の実施、相談しやすい環境づくり、児童理解の推進、人権学習の推進、相談窓口の設置)を進め、よりよい学級づくりや人間関係の構築・向上を進めます。さらに、日常の道徳の授業を充実させ、豊かな心づくりを進めていきます。

これまで取り組んできた「三玉のあいさつ」の推進(「いつでも どこでも だれにでも 遠くから帽子をとって近くでにっこり笑顔・校門であいさつ」の推進)をさらに進め、家庭や地域にあいさつを広げていきます。

○ 誰一人取り残さない「確かな学力の向上」をさらに図ります。・授業改善、個に応じた指導、読書活動等

確かな学力の向上のために、これまで取り組んできた教師の指導力向上(校内研修の推進、授業づくりの研修)をさらに充実させ、「児童が分かった、もっとやりたい」と思うような授業づくり(学習のめあてと確実なまとめ、発表力の向上の手立て、UDの視点の意識化)を進めます。また、これまで課題であった、児童の発表力や思考を表現する力については、グループ形態の工夫や発表の場の設定、思考ツールの活用などに取り組んできましたが、まだ伸びしろがあります。その改善に向け、さらに授業展開(思考・発表の場の設定、タブレット・ICT機器の有効活用、UDの視点の重視、集会等の場での発表、思考・発表ツールの工夫)し、児童の思考力・判断力・表現力等の向上を図ります。

誰一人取り残さない学力の定着を図るため、児童の定着の確認(各種学力テストの分析・活用)や基礎的・基本的な学習内容の定着(計画的な複数体制でのパワーアップタイム<放課後学習>の実施、家庭学習の工夫)を引き続き行っていきます。また、個に応じた指導(算数科等の複数指導体制、専門的な外国語指導、理科指導の実施、日本語指導の活用、タブレットの活用等)を継続して取り組みます。また、夢を育み、生きる力の基盤につながる読書活動については、年度当初に比べ児童の読書量は増えていますが、さらに読書量を増やし、読書に親しませるために図書委員会と連携した読書の目標設定や図書室の活用、家庭学習での読書課題の設定などを進めていきます。

○ 誰一人取り残さない「生活習慣の定着」をさらに図ります。・生活習慣・生活リズムの向上、体力の向上等

課題であった早寝・早起き・朝ご飯、適切なテレビの視聴やゲームの使用などの基本的な生活習慣の定着や生活リズムについては、児童もご家庭も意識して進めていただいております。年度当初より改善しています。ただ、児童の中には、長時間のゲームの視聴により、自分で定時に起床できない状況や朝から不定愁訴を訴える児童もいます。その改善に向け、ノーメディアデーの実施(第1・3水曜日に実施、元気アップカードで振り返り)や健康・保健指導(学級指導の充実、すこやかだより・学校便りでの理解・啓発)をさらに推進し、月ごとに定着目標(1月は睡眠の確保)を定め、生活習慣の定着を図ります。引き続き、ご家庭でもご協力をお願いします。

また、体力の向上のため、体育の授業はもちろん、ハッスルタイム等での目標設定シート(なわとび大会、達成の視覚化等)を作成し、計画的に体力の向上を図っていきます。

三玉小職員一丸となって、教育の質の向上と学校の活性化を図り、よりよい魅力ある学校づくりにつなげてまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いします。
--